

平成 29 年度 事業報告書

(自) 平成 29 年 4 月 1 日

(至) 平成 30 年 3 月 31 日

1. 事業の概況

平成 29 年度は、自然環境の変化やゴルフ場を取りまく厳しい経営環境を認識しつつ、地方自治体や関連団体、関係省庁等と連携しながら事業を執行いたしました。

公共施設（学校・福祉施設・公園・河川等）の緑化促進・環境保全事業を実施しながらも、海岸防災林の再生、桜公園の造成、松くい虫対策助成事業、そして熱中症対策事業など、被災地復興支援や創立 40 周年記念事業にも、尽力いたしました。

また、当会の意義ある事業を継続、促進するには、ひとりでも多くの方々のご理解、ご賛同が必須と当会活動の周知を心がけました。ホームページの刷新とともに、メディアや会員の方々のご協力を得、PR に努めました。

当会創立当初と現在では、国土の緑化環境は大きく異なります。望まれる緑化支援がどのようなものか、心を沿わせ取り組みました。

お陰さまで 41 年を通じ、植樹本数が 211 万本に達しました。これもひとえに、全国のゴルファー、ゴルフ場、会員皆さまをはじめ、ともに事業推進してくださいました関連団体の方々のおかげで、ご支援の賜物と衷心より感謝を申し上げます。

2. 会員増等への取り組み

1. 会員ゴルフ場の維持・拡大

新規入会の勧誘、そして会員の維持に努めてまいりました。厳しい状況ではありますが、会員のご協力を通じて、正会員ゴルフ場の入会をいただきました。

あいにく退会もありました。経営方針の変更や地域のプレーフィ競争等が、主な原因です。

2. 賛助会員・寄付金の拡大

会員のご協力により、新たに賛助会員としてのご入会やご寄付をいただきました。また、当会の概要や事業内容、及び支援のお願いを含めた「あらまし 2017.8」を発行したことにより、個人や企業の方々から、あたたかい寄付がありました。

また、ホールインワン・アルバトロスを達成された 101 名の方々からもご寄付をいただきました。

3. 事業活動

(1) 地方緑化事業

1. 緑化協力金の配分

平成 29 年 9 月（第 81 回配分・平成 29 年 1 月～6 月緑化協力金分）と、平成 30 年 3 月（第 82 回配分・平成 29 年 7 月～12 月緑化協力金分）に、地方緑化事業費として 36 百万円を[表 1]のとおり配分しました。

[表 1] ゴルフ場の区分による地方緑化事業費の配分(委託)先 等

ゴルフ場の区分	緑化協力金の配分(委託) 団体	委託事業内容と地方緑化事業費配分額 合計 36,018 千円
①一般 ゴルフ場	都道府県緑化推進 委員会等	公立の小中学校、病院、福祉施設など 社会公共施設への植樹 21,481 千円
②国立公園内 ゴルフ場	国立公園地域内団体等	国立公園等の環境・美化緑化活動 144 千円
③河川敷 ゴルフ場	河川財団	協力ゴルフ場のある水系の河川および その近傍における植樹等 14,393 千円

2. 地方緑化事業

配分した前項の緑化協力金に基づき、各都道府県緑化推進委員会や国立公園地域内団体、公益財団法人河川財団では、緑化推進・環境保全のため、植樹緑化事業を推進いただくと同時に、社会環境の変化に応じ、植樹の他、植栽樹木のメンテナンス、除伐等も事業に取り入れていただきました。

3. 地方緑化事業の規模

地方緑化事業以外に、次項で述べる「全国緑化事業」、「植樹緑化事業」、「創立 40 周年記念事業」においても緑化推進・自然環境保全活動を行っておりますが、特に甚大な地震や台風、洪水等を被った被災地支援のための植樹、環境改善、また次代を担う子どもたちのための教育環境緑化等に尽力いたしました。

(2) 全国緑化事業

1. マツ枯れ対策

松くい虫防除対策として、東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林で行う抵抗性マツ苗木の開発・改良の研究に対して助成し、会員、非会員問わず必要とされるゴルフ場に配布いたしました。今年度は全国 27 ゴルフ場から申し込みを受け、4 年生抵抗性アカマツ苗（樹高 70cm-90cm）合計 1,820 本を平成 30 年 3 月に配布いたしました。昭和 56 年度より支援を、昭和 58 年度から配布を開始し、毎年継続しています。

2. 緑化貢献の顕彰

会員ゴルフ場でのプレーを通じて緑化普及に貢献いただいたゴルファーの方々を顕彰する制度として平成 19 年度にスタートした「緑化貢献大賞」と「エージシ

ュート大賞」は好評を得ています。平成 29 年度は「緑化貢献大賞」が 20 名、「エージシュート大賞」が 25 名でした。それぞれ達成された会員ゴルフ場を通じてトロフィを授与し表彰していただきました。

3. GGG 国立・国定公園支援事業

昭和 62 年より 29 年間継続してまいりました公益信託自然保護ボランティアファンドの後継事業として、平成 28 年度より新たに開始いたしました。環境省と連携し、国立公園や国定公園において、地域の理解や協力のもと、自然環境の保全を目的としたボランティア団体の健全な活動を支援いたしました。助成対象事業を明確にし、環境省地方環境事務所、または都道府県から推薦が得られた団体の申請を受け、選考委員会で厳正に審査。28 団体を選定し助成いたしました。ボランティア団体の方々からは大変喜ばれ、今後の活動が更に期待できます。事務局を一般財団法人自然公園財団にお願いいたしました。

(3) 植樹緑化事業

1. 被災地域に対する緑化再生・環境改善事業

公益社団法人国土緑化推進機構や各緑化推進委員会との協働、特定非営利活動(NPO)法人などの協力を得、震災による津波等で被害を受けた地域の海岸防災林再生活動やまちづくりなど、復興を後押しするための支援をいたしました。

(1) ふくしま県民の森「さくら公園」の維持管理支援 (福島県大玉村)
醍醐の桜を中心とした桜公園のサクラの補植、保育作業が必要と判断し、支援を継続いたしました。

(2) 岩沼市玉浦西まちづくり (宮城県岩沼市 4,000 m²)
岩沼市玉浦西地区住民協議会のまちづくりの取り組みに賛同し、造成した芝生公園 2 箇所のフォローアップが必要と判断し、肥料、除草剤等を継続支援しました。

(3) 「ゴルファー未来の森 仙台」の造成 (宮城県仙台市荒浜 2,000 m²)
海岸防災林の再生のため東北森林管理局が取り組んでいる『みどりのきずな』再生プロジェクトの趣旨に賛同し、「社会貢献の森」協定を締結し、海岸防災林の再生活動を推進いたしました。

平成 29 年 5 月 14 日(日)、仙台市若林区荒浜に地元の親子ボランティア、イオンチアーズクラブ、みどりの少年団の子どもたちに植栽指導員の方々が加わり、総勢 114 名で、冷たい雨の中ではありますが、元気に抵抗性クロマツ 1,000 本の苗木を植栽しました。完了後、夢中でゴルフをテーマにしたネイチャークラフト活動をし、海岸防災林の保全やごみとリサイクルについても真剣に勉強しました。また、8 月には大掛かりな下刈作業や病害虫防除対策を 3 度にわたり実施。9 月から 11 月においても除草作業に加え、活着・生育調査をい

たしました。生育状況は良好で、生存率は 95.5% (樹高最大 60cm)。ツルマメ等のツルやヤハズソウなどが、ヨモギ、イヌビエ、メヒシバ等の大型雑草に巻きつき繁茂し、苗木を覆ってしまいますので、今後も除草作業が必要になります。少なくとも 5 年間は、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会の協力を仰ぎ、維持管理活動を継続いたします。

(4) 全国植樹祭支援「ゴルファー未来の森」づくり (福島県南相馬市 1,000 m²)
第 69 回全国植樹祭が、平成 30 年 6 月 10 日 (日) に福島県南相馬市 (海岸防災林造成地) で開催されます。この復興シンボル事業を力強く応援するため、平成 28 年度より協賛し推進しています。海岸防災林の再生へ向け、平成 29 年 5 月 21 日 (日) に、子どもたちや地元の方々とともに横田真一プロ (現理事) をゲストに迎え、抵抗性クロマツ 500 本を植栽し、全国植樹祭支援「ゴルファー未来の森」づくりのための植樹祭を賑やかに開催しました。植樹祭終了後、鹿島カントリー倶楽部 (南相馬市原町区) に会場を移し、横田プロの特別協力によるデモンストレーションやレクチャー、レッスン等を通じ、熱心なゴルファーにはもちろんのこと、ゴルフ未経験の子どもたちにゴルフを初めて体験する機会を提供しました。ゴルフの楽しさ、緑あふれるゴルフ場の素晴らしさを存分に味わってもらいました。

また、東北唯一のゴルフ男子ツアートーナメント「ダンロップ・スリクソン福島オープン」(於：グランディ那須白河ゴルフクラブ) において、第 69 回全国植樹祭応援ブースを出展し、募金活動を行いました。ジャパンゴルフツアー選手会のご協力により、多くのプロたちから寄付者向けにサイン入りボールやグローブ、キャップ、色紙などをたくさんご提供いただいたことからブースには多くの観戦ゴルファーが集まり、心強い支援を受けました。

平成 29 年 12 月 19 日 (火) には、ジャパンゴルフツアー選手会を代表し、青木功日本ゴルフツアー機構会長から、第 69 回全国植樹祭福島県実行委員会の齋藤卓夫副会長宛に、多くのプロゴルファーをはじめ一般ゴルファーのあたたかい思いとともに、寄付金の贈呈式が行われました。

(5) 七ヶ浜町菖蒲田浜地区海岸清掃とサクラ植樹 (宮城県七ヶ浜町菖蒲田浜)
被災地の復興を加速させるため、平成 29 年 11 月 19 日 (日)、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会との共催により、地元の方々、一般親子、イオンチアーズクラブ、みどりの少年団の子どもたちなど、160 名もの参加を得、仙台圏唯一の海水浴場、七ヶ浜町菖蒲田浜地区の海岸清掃を行いました。海藻他、浜に漂着した缶や瓶、ペットボトルのキャップ、ロープを、また鉄板までも拾いました。回収したごみは種類を調べ、海辺環境の保全に取り組む一般社団法人 JEAN を通じ、米国の非政府組織 (NGO) に報告。世界の海辺のごみデータとして記録されました。そしてゴミの種類調査や流れ着いた海藻の清掃

等の実施により、参加者は震災後のごみ問題やリサイクルについて大いに考え学びました。地域の方々が、来期きれいになった海岸を訪れるきっかけづくりにもなりました。

海岸清掃後は仙台ラ・サール・ホームとの協働により、高台 0.02ha に記念樹のヤマザクラを含め、オオシマザクラ、ジンダイアケボノ、楊貴妃系ヤマザクラなどサクラ 31 本の植樹を行い、サクラの森づくりをいたしました。震災孤児たちが、海岸やサクラの森で元気に遊び、たくましく成長していくことを念じています。海岸清掃、サクラ植樹後はアツアツのカニ鍋で昼食交流会。そしてゴルフをテーマにネイチャークラフト活動をしました。参加の子どもたちは初雪の見舞う寒い一日にもかかわらず、ワイワイ楽しみました。

(6) 東日本大震災復興事業 GGG 海岸植樹祭 (茨城県神栖市矢田部 3,000 m²)

東日本大震災時の津波等により鹿島灘海岸の約 60 kmにわたる海岸防災林が消滅や荒廃したことを受け、後背地保護を行うことが喫緊の課題として更なる推進が求められています。そこで平成 28 年度に引き続き、公益社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人茨城県緑化推進機構と協働で、海岸防災林再生事業を実施いたしました。平成 30 年 2 月 27 日 (火)、神栖市矢田部海岸 (飛砂防備保安林) において、地元の小中学生や市民、ボランティアの方々 420 名により、抵抗性クロマツやトベラ等 2,000 本を植栽いたしました。教育委員会の方々をはじめ、先生方も参加してくださいました。生徒たちは、森林・林業体験授業の一環として、海岸防災林体験学習及び海岸人工砂丘体験学習も行い、復興支援とともに緑化・防災学習の機会にもいたしました。

(7) 千葉県海岸防災林再生植樹事業 (千葉県旭市神宮寺地内 3,264 m²)

東日本大震災による津波の浸水や松くい虫等の被害により荒廃した海岸防災林の機能を取り戻すため、平成 30 年 2 月 28 日 (水)、千葉県とともに森林ボランティアや企業・団体をはじめとする県民の方々 72 名ほどの参加を得、海岸県有保安林に抵抗性クロマツ苗木を 1,142 本、トベラ 688 本、マサキ 669 本、計 2,499 本を植栽しました。今後は千葉県協力のもと、公益社団法人千葉県緑化推進委員会が中心となり、5 年間は下刈等保育作業を県民に声掛けをし、健全に生育するように維持管理活動を実施していきます。

(8) 震災復興植樹祭 IN さんむ (千葉県山武市蓮沼ホ字曙 2,000 m²)

公益社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人千葉県緑化推進委員会とともに、東日本大震災による津波の浸水被害を受けた海岸防災林の機能を取り戻すとともに、青少年の健全育成や環境学習の機会となるように平成 30 年 3 月 10 日 (土) に植樹祭を開催いたしました。本植樹祭は、地域の名産品である「いちご」をテーマにしたフェスティバルのひとつとして、PTA や区長会等、さまざまな市内団体と幅広く連携し実施いたしました。市内の小中学生、保護者はも

とより、地元住民や市外から 223 名の参加を得、抵抗性クロマツ苗木 2,000 本を植栽いたしました。維持管理は山武市青少年育成市民会議が中心となり、16 の関係団体と連携し実施していきます。

(9) 「ゴルファー未来の森 北官林」の造成 (宮城県仙台市荒浜北官林 1,000 m²)
宮城県が実施している「みやぎ海岸林再生みんなの森林(もり)づくり活動」の事業趣旨に賛同し公募申請手続きのうえ、宮城県、仙台市と 10 月 13 日に協定を締結しました。仙台市北官林に、特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会の協力を仰ぎ、抵抗性クロマツ苗木 520 本を植栽し「ゴルファー未来の森 北官林」を造成しました。

平成 30 年 3 月 24 日(土)、青空のもと蔵王連峰を臨みながら、みどりの少年団や子どもたち、保護者の皆さま、ボランティアの方々とともに、植樹祭を開催いたしました。植樹を完了したあとは、お楽しみのお弁当交流タイム。そしてゴルフをテーマにネイチャークラフト活動も賑やかに楽しみました。今後は、下刈、補植、施肥作業、そして活着・生育調査等を含め、少なくとも 5 年は丁寧に維持管理活動を実施し、健やかな成長を見守ります。

(10) 東北「海岸林」ものがたり の‘絵本’と‘紙芝居 DVD’の配布

平成 28 年度に発行した「東北『海岸林』ものがたり」の絵本と紙芝居 DVD は被災地域でのセミナーや全国の小学校などでの副教材として、楽しくわかりやすいと好評を博しました。今年度も新たな活用の希望をうけ、増刷いたしました。平成 28 年度に引き続き、岩手県陸前高田市の市民などによる高田松原の再生活動のためのセミナーにも協力。配布を継続することで、海岸防災林に対する理解や必要性の周知を促進しています。一般の方々や将来の担い手である子どもたちの、より積極的な再生保全活動へつながることを念じています。

2. 健全な緑化・環境教育支援、及び公共施設への支援活動

春季開催の全国植樹祭、秋季開催の全国育樹祭を実施する各都道府県内の学校環境緑化、整備、改善等を通じ、子どもたちを応援しています。

(1) まんのう町立満濃南小学校 (香川県仲多度郡満濃町)

第 41 回全国育樹祭(平成 29 年 11 月 19 日(日)開催)の式典会場近隣に位置するまんのう町立満濃南小学校の教育環境改善のため緑化支援をいたしました。平成 29 年 4 月 25 日(火)に緑化記念式典が開催され、オリーブやハナミズキを植樹、カリン、サツキを移植しました。子どもたちが腰を下ろせるスペースづくりのため、芝生化もはかりました。また、みどりの少年団の制服を整備することで全国育樹祭での活躍はもちろんのこと、地域の様々な緑化活動への積極的な参加を促し、未来へつなぐ子どもたちを育む一助といたしました。

(2) 南相馬市立大甕小学校 (福島県南相馬市原町区)

震災の影響で学校緑地が荒廃した子どもたちの環境改善をはかるため、福島県

南相馬市立大甕小学校の敷地整備をいたしました。平成 29 年 6 月 29 日（木）には式典を開催し、校庭の東屋を整備、運動・バランス感覚を養う遊具を設置、そしてカシワやサクラ、アジサイ、ハナミズキ等も植樹しました。第 69 回全国植樹祭のみならず、より活発な地域での緑化活動に繋がることを願い、みどりの少年団へ制服を贈呈しました。

(3) 東浦町立藤江小学校

(愛知県知多郡東浦町)

第 70 回全国植樹祭（平成 31 年春季/会場：愛知県森林公園）を開催する愛知県内の東浦町立藤江小学校に教育環境改善のため緑化支援をいたしました。学校林斜面の枯損木や棘が多い木（ニセアカシア等）を伐採し、安全な環境を確保。そして学校林斜面に、伐採した木材を再利用し階段をつくりました。また、竹林を整備し竹炭をつくり、近接の須賀川に炭の堤防を作成、川の浄化に努めました。平成 30 年 3 月 8 日（木）には緑化記念式典が執り行われました。あいにくの大雨により記念植樹式は実施できませんでしたが、校内多目的室にて、みどりの少年団に制服を贈呈。そして、それぞれの活動について、元気いっぱいの子どもたちから紙芝居方式で報告を、丁寧なお礼の言葉とともにもらいました。全国植樹祭だけでなく、地域の方々とともに行う緑化活動での活躍を期待しています。植樹式用に準備されていた栗の木 2 本は後日植樹されました。

4. 創立 40 周年記念事業

平成 27 年度下期より実施しております。海岸防災林再生支援事業などについては、維持管理も含め 3 年から 5 年にかけて丁寧に推進しています。

1. 岩手県県民の森「サクラ」植樹事業

(岩手県八幡平市)

東日本大震災からの一日も早い復興を祈念し、岩手県民の憩いの場である「岩手県県民の森」（岩手県八幡平市）がサクラで彩られる名所となるように公益社団法人岩手県緑化推進委員会と協力し、推進、実施いたしました。平成 28 年 5 月 28 日（土）に 250 名以上の方々が集まり、寒冷地に強い異なる 11 種 170 本のサクラを植樹し、盛大に植樹祭を開催。ホールインワン記念等によるご寄付を充当し、平成 29 年 5 月 1 日（月）に完成いたしました。その後ご寄付いただいた方々のお名前（希望者）を銘板に刻印し案内板とともに設置を完了いたしました。枯損木の補植やノウサギ等による食害防止網も取り付け、平成 29 年 10 月 28 日（土）には施工作业を終えました。今後は栽木の整形を通じ、成長を見守り続けます。毎年、春の訪れ、開花を、県内外の方々に楽しみにしていただきます。

2. 霊山こどもの村「サクラの森」づくり

(福島県伊達市)

平成 25 年度(2013 年)より、東日本大震災で被災された方々が県内外の方々と四季を通じて交流できる憩いの桜公園づくりに注力しております。「ふくしま県民の

森フォレストパークあだたら」、続いて「岩手県民の森」にサクラを植栽し、それぞれ完成いたしました。今年度は、一般社団法人りょうぜん振興公社、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会と協働で、伊達市「霊山こどもの村」を植樹地とし、同様の趣旨で推進いたしました。第 69 回全国植樹祭『大会 1 年前記念イベント』にあわせ、平成 29 年 6 月 11 日（日）に植樹祭を開催し、富岡町夜ノ森サクラ苗木 100 本を植栽いたしました。ホールインワン等による寄付金を充当し、平成 29 年 12 月 4 日（月）に完成。ほかの桜公園と同様、記念としてお名前（希望者）を銘板に刻印する準備を進めています。

3. 海岸防災林再生「golfer 未来の森」づくり（宮城県亘理郡山元町 2,000 m²）

宮城県が実施している「みやぎ海岸林再生みんなの森林（もり）づくり活動」の事業趣旨に賛同し、平成 28 年度、宮城県、山元町と協定を締結。3 年計画で山元地区 0.3ha に抵抗性クロマツの「golfer 未来の森」を造成しています。平成 28 年 5 月 14 日（土）に 500 本、そして平成 29 年 3 月 26 日（日）に 500 本、計 1,000 本の苗木を植栽し、それぞれ賑やかに植樹祭を開催しました。今年度は特定非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会と連携し、雑草除去や施肥作業等を行いました。活着・生育調査を 4 度にわたり、また除草作業を 2 度実施いたしました。枯損はありながらも補植の必要はありませんでした。生育状況は良好で平成 28 年植樹分は生存率 99.8%（樹高最大：88 cm）、平成 29 年植樹分生存率は 95%（樹高最大：66 cm）。雑草はイヌビエ、カワラヨモギ、オオアレチノギク等の大型のものが多く、除草は全て対応できましたが、平成 30 年度は対策が必要となります。

4. 菌根菌によるマツ苗育成と海岸防災林再生事業

マツ苗育苗・植栽による健康な海岸の再生を目指して、宮城県名取ハマボウフウの会「ゆりりん愛護会」と連携し、協力団体や一般市民の方々とともに、推進いたしました。子どもたちの夏休み等を活用し、親子でマツの播種、育苗の実地体験やマツ苗植栽地の現地見学会を通じ、子どもたちの健全な育成の一助となり、ひいては未来の子どもたちが集まり遊べる場の造成に繋がることを念頭に置いています。植樹会を 4 度開催し、多くの地元住民やボランティアの方々とともに抵抗性クロマツ苗やショウロ菌付マツ苗を 2,108 本植栽しました。本事業は平成 28 年度より 3 年にわたり継続してまいります。

5. GGG 松くい虫対策助成事業

ゴルフ場の運営管理を推進しやすくすることで、ゴルフ場の健全な緑化、環境保全の促進を目的に、平成 28 年度より取り組んでいます。

申請ゴルフ場の報告書をもとに、平成 29 年 5 月 17 日（水）開催の審査委員会において厳正に審査し、承認された 12 のゴルフ場宛、106 本分を助成いたしました。また、今年度方針、取り組み手順等を第 1 回業務執行理事会（平成 29 年 9 月 15 日（金）開催）において明確にし、引き続き推進いたしました。10 月初旬に会員、非

会員にかかわらず、案内状を送付するとともに、ゴルフ業界専門誌等の協力を得、全国ゴルフ場への周知をはかりました。平成 30 年 1 月末日に申請を締め切り、2 月 20 日（火）審査委員会を開催。その結果を全申請ゴルフ場宛に報告し、平成 30 年 3 月には承認された 55 ゴルフ場へ、525 本分の助成金を支払いました。

ゴルフ場のかかえている問題の解決や改善へ向けての一助となることを念願しています。

6. 伊予の名取「縁結びの松」生育フォロー支援事業

400 年前より伊達藩が居住している宇和島「伊予の名取」（愛媛県西宇和郡伊方町名取）における松くい虫の甚大な被害の対策として、名取市（宮城県）で震災を生き延びたマツの子どもたちを植栽しました。また「伊予の名取」でわずかに生き残ったクロマツの種子を名取市牛野圃場（宮城県）で苗に育てるマツの播種、そして苗を育てる作業をしました。また、平成 29 年 8 月 27（日）～31 日（木）、名取市（宮城県）の方々が伊予の名取を訪れ、現地視察、学習会、ボランティア作業、自然観察会等を通じ、歴史をたどりながらの交流会をいたしました。「二つの名取を結ぶ会」（代表 大橋信彦氏）を通じ支援いたしました。

7. アカマツのコンテナ苗生産システムの構築支援事業

1960 年代よりマツ材線虫病によるアカマツ集団枯損が多数確認されました。昭和 56 年度（1982 年）以降、東京大学大学院千葉演習林への研究助成により、全国のゴルフ場に採種園由来の苗木を配布してきました。その累積本数は昭和 56 年度～平成 27 年度（1982 年～2016 年）で約 10 万本に達しています。路地植えの生産方法により除草や床替えなど人手がかかる作業にも関わらず、近年の経費削減にともない、苗木生産に困窮しているのが現状です。そこで、今や注目を浴びているコンテナを用いたスギ等造林用苗木の生産手法に着眼しました。コンテナ使用の施肥は短期間で苗木を作製できるうえ、裸苗よりも小さくなるため、運搬コストが抑えられる利点があります。また、苗畑に比べ除草労力が大幅に削減されるとともに床替えの回数を減少できるようになります。結果として人員の減少も見込めます。

平成 28 年度、苗木を配布した会員ゴルフ場 3 か所を視察し、苗木の生育状況の確認とともに質問調査をしたところ、管理の観点から苗サイズは路地苗と同程度が望ましいという意見が得られました。緑化樹としてゴルフ場に植栽されることを目的とした、比較的サイズの大きい抵抗性アカマツ苗の生産方法を検討することが必須です。

本事業では、安定したコンテナ苗生産システムを構築することを目的に、東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林千葉演習林を助成しました。3 年でシステムの完成を目指します。

8. 熱中症対策事業

ゴルフ場での熱中症が増加しています。ゴルフ界として、さらには 2020 年開催

の東京オリンピックへ向けても喫緊の課題といえます。

そこで、ブドウ糖とクエン酸が配合されているハイポトニック飲料を配布し、熱中症対策の重要性を周知するとともに、ゴルファーの熱中症に関する意識調査をいたしました。

まずは、浜野ゴルフ倶楽部（千葉県）開催の ISPS ハンダマッチプレー選手権 1 回戦・2 回戦（平成 29 年 8 月 1 日・2 日）において、選手、キャディ、関係者の方々に、オリジナルペットボトルホルダーとともに配布しました。大きな反響がありましたので、9 月開催の ISPS ハンダマッチプレー選手権本戦（平成 29 年 9 月 6 日～10 日）では、熱中症対策の重要性及び当会の周知カードを添えて来場の方々に配布。熱中症に対する意識調査もいたしました。次に、東条の森カントリークラブ（兵庫県）で、ゴルファーの方々に同様の飲料、他一式を配布。アンケートにもご協力いただきました（平成 29 年 10 月 9 日～10 日）。初めての試みではありませんでしたが、予測以上に貴重な情報、データが集まりました。

平成 30 年度も継続事業といたします。全国のゴルファーに対して熱中症対策の重要性、当会活動の周知をはかりながら、意識調査をすすめ、その集計結果やデータ等をゴルフ界内外へ向けて発信できるように推進します。

9. 「ゴルフ場環境セミナー」の開催

平成 23 年度～27 年度に実施してきた「ゴルフ場の樹木管理セミナー」は、一定の成果を上げることができました。

平成 28 年度からは、ゴルフ場が環境保全に果たす役割やゴルフプレーによる健康長寿などをテーマとし、新たにスタートいたしました。

実際、ゴルフ場のかかえる樹木管理の問題は、樹木と芝草の競合を回避することに要する費用負担をいかに低減するか、発生する刈草・伐採木等のバイオマスの利用からいかに恩恵を生み出すか、さらに水資源保全の観点から、コース管理にともなう水利用の効率化が課題となります。加えて、2017 年には「スコットランドのプロゴルフトーナメントにおける観客の歩数と参加理由に関する研究」が英国のスポーツ医学誌に掲載され、エジンバラ大学のアンドリュー・ミュレイ博士らはトーナメント観戦者 329 人を対象とする調査で、平均 11,589 歩の歩数データが得られ、日常的に勧められている 1 日の歩数を達成していることが明らかにされました。それは、世界の 6 大陸で開催される数百ものゴルフトーナメント観戦者は健康上役立つ身体活動を行っていることを指摘しています。

そこで、一般社団法人ゴルフ場経営者協会とともにゴルフ場で発生する植物系バイオマス利用、ゴルフ場の水資源管理、ゴルフと健康に関する最近の知見についてゴルフ場やゴルフ場管理者、樹木医の方々を対象に、座学を実施いたしました。事務局は、一般財団法人緑化センターにお願いしました。

平成 30 年 3 月 6 日（火）TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンターにおいて、

「木質バイオマス熱利用のすすめーゴルフ場での現状と課題」「ゴルフ場の水資源管理の課題」「健康寿命を延伸する『1日8,000歩・速歩き20分』の健康法とゴルフの効用について」を演題に、それぞれ川越浩之氏（一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会 専門調査員）、木村正一氏（東洋グリーン株式会社 執行役員 ビジネス開拓本部長、青柳 幸利氏（東京都健康長寿医療センター研究所 運動科学研究室長）よりご講義をいただきました。

聴講された方々には、ゴルフ及びゴルフ場が地域の生活の中でいかに役立つことができるかを考える機会とし、得た情報、知識を現場の方々と共有し、実践されていくことを期待しています。

10. 「桜の木ゴルフトーナメント」の実施

より意義のある事業を継続、推進していくには、ひとりでも多くのゴルファーに当会の活動内容、役割等をいかに周知し、支援者、賛同者を募るかが近年の重要な課題のひとつです。平成25年度（2013年）より被災地にサクラを植樹し、その地域内外のシンボルとなるように、桜公園の造成を推進しています。

そこで、ゴルファーが待ち望んでいる桜の咲く季節、楽しみながら当会活動を理解、応援していただく機会の提供を、会員ゴルフ場にお願いしました。桜をテーマにトーナメントやイベントを開催。告知や報告のホームページ、掲示板を通じて当会の目的や事業内容などを発信していただき、当日はパーティ等で活動について発表。サクラ色満載のパーティプレートや桜の盆栽、桜関連賞品を提供することで会場を彩り、盛り上げます。平成29年度は、しがらきの森カントリークラブ（滋賀県）、東条の森カントリークラブ（兵庫県）にご協力をいただきました。

本事業は活動の周知だけでなく、協力ゴルフ場の集客、イメージアップに繋がるとともに、会場も桜で華やぎ、ゴルフ場にも参加ゴルファーにも大変喜ばれました。

緑化実績

区 分		平成29年度 <small>平成29年4月-平成30年3月 実績</small>		累 計		
		植樹箇所	植樹本数	植樹箇所	植樹本数	
地方緑化事業		46	9,196	6,410	1,647,397	
全 国 緑 化 事 業	抵抗性マツ苗木配布 <small>(ゴルフ場対象)</small>	27	1,820	2,215	338,092	
	サクラ苗木配布	—	—	94	1,860	
	その他	—	—	316	96,400	
	震 災 復 興 支 援	抵抗性マツ苗木植樹	6	8,430	20	20,254
		サクラ苗木植樹	3	136	12	1,719
		広葉樹苗木植樹	4	1,727	9	7,713
		その他	—	—	2	6,000
合 計		86	21,309	9,078	2,119,435	

5. その他事業

1. ホームページ <https://ggg.or.jp> の充実

ゴルファーのみならず、ゴルフをされない方々、一般企業等に当会趣旨や活動がわかりやすく理解、賛同を得られるように、大きく刷新いたしました。どなたにも親しみやすいホームページになりました。

2. ロハスフェスタへの後援・協賛

国民スポーツとしてのゴルフの健全な発展、及び活性化に資するため、今年度も年間を通じ、全開催〔ロハスフェスタ万博 2017 SPRING (5月12日～15日/5月19日～21日)、ロハスフェスタ広島 (5月26日～28日)、ロハスフェスタ東京 2017 (9月16日～18日)、ロハスフェスタ淡路島 2017 (10月7日～9日)、ロハスフェスタ万博 2017 AUTUMN (11月3日～5日/10日～12日)] に対し、後援しました。

2006年のロハスフェスタ開始以来、回を重ねるごとに、地球環境に配慮した取り組みや地球環境を学び体験する機会も増えています。

平成29年度 ロハスフェスタ	入場者数	出展数	回収量				
			ゴミ	使用済み 天ぷら油	牛乳 パック	ダウン	小型家電
ロハスフェスタ万博2017SPRING 平成29年5月12日(金)～15日(月) 5月19日(金)～21日(日) 於：万博記念公園(大阪府吹田市)	110,810 人	801ブース	2,440 kg	400 L	175 kg	84 個	10 台
ロハスフェスタ広島2017 平成29年5月26日(金)～28日(月) 5月19日(金)～21日(日) 於：旧広島市民球場跡地(広島県広島市)	37,585 人	236ブース	590 kg	75 L	70 kg	19 個	29 台
ロハスフェスタ東京2017 平成29年9月16日(土)～18日(月) 於：光が丘公園(東京都練馬区)	41,310 人	246ブース	790 kg	220 L	150 kg	35 個	51 台
ロハスフェスタ淡路島2017 平成29年10月7日(土)～9日(日) 於：明石海峡公園(兵庫県淡路市)	24,300 人	157ブース	820 kg	100 L	50 kg	34 個	25 台
ロハスフェスタ万博2017AUTUMN 平成29年11月3日(金)・5日(日) 11月10日(金)～12日(日) 於：万博記念公園(大阪府吹田市)	130,433 人	561ブース	1,550 kg	500 L	180 kg	74 個	81 台
合計	344,438 人	2,001ブース	6,190 kg	1,295 L	625 kg	246 個	196 台

そして、東京、淡路島、万博 (AUTUMN) の3会場において出展し、環境問題や緑化への取り組みに対して意識の高い層へ直接アピールいたしました。ゴルフ場が地球温暖化防止をはじめとした環境保全に貢献していること、当会の被災地支援活動報告、海岸防災林再生活動の重要性、そして災害時のための緑化の重要性、災害後の緑化の必要性等を周知する機会とし、当会活動への理解や協力を得られるように努めました。

ブース来場の方々には、エコバッグ制作を楽しんでもらいながら、事業活動内容に触れていただき、貴重なご寄付をいただきました。本寄付金はロハスフェスタ実行委員会のご希望に沿い、東北緑化支援として海岸防災林再生に役立たせていただきました。

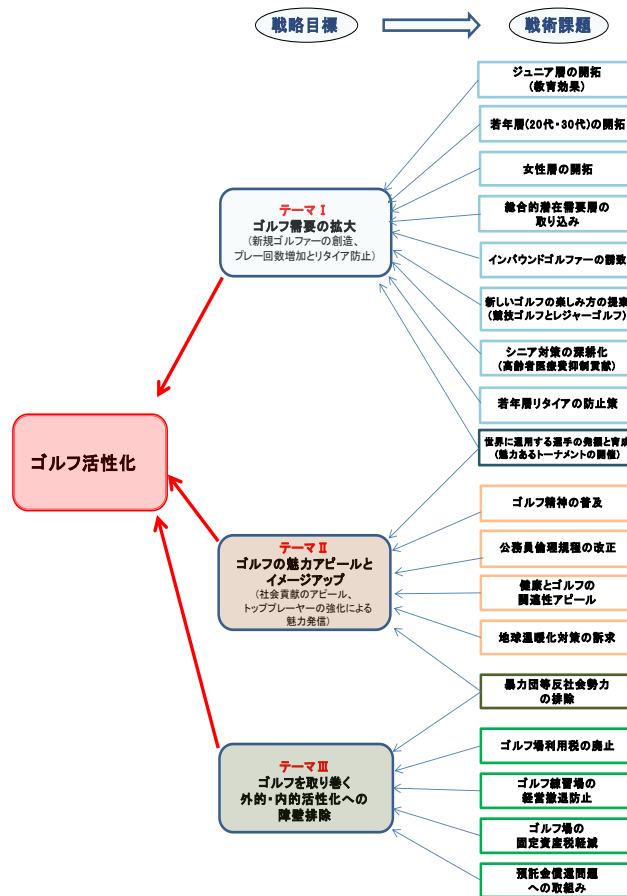
3. 日本ゴルフサミット会議決議によるゴルフの活性化活動

日本のゴルフ界全体、及び日本ゴルフサミット会議が取り組むゴルフ活性化のための戦略目標である「テーマⅠ：ゴルフ需要の拡大」については（3）植樹緑化事業1項(3) [3頁]で、ゴルフ未経験の子どもたちに、横田真一プロによるデモンストレーション、レクチャー、体験を通して、ゴルフ、ゴルフ場の魅力の一端を体感してもらいました。本事業はジュニア層の開拓につながる活動です。「テーマⅡ：ゴルフの魅力アピールとイメージアップ」については、前項ロハスフェスタにおいて、ゴルフ場が温暖化対策に寄与していることを発信いたしました。当会の活動そのものが、本テーマ、ひいてはゴルフの活性化に沿う活動と心得ます。

また、ゴルフウィーク（8月第一週）においては、3. 創立40周年記念事業の8項 [9頁]でご報告のとおり、ゴルフトーナメント会場において、ハイポトニック飲料、オリジナルペットボトルホルダーの配布を通じ、熱中症対策に努めましたことも、活性化を念頭に実施いたしました。

なお、日本ゴルフサミット会議につきましては、業務軽減化のため平成29年度をもって退会いたしました。今後は当会独自の考え方により、ゴルフの活性化を進めてまいります。

ゴルフ市場活性化のための戦略目標と主要戦術課題



平成 29 年度 各種会議の開催報告

1. 理事会・総会の開催状況

(1) 理事会

第1回理事会

日 時 平成 29 年 6 月 2 日 (金) 14 : 00 ~ 15 : 30

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席数 出席理事 12 名、監事 2 名、計 14 名
(理事総数 17 名)

議 事

第 1 号議案-1 平成 28 年度 事業報告 (案) について

第 1 号議案-2 平成 28 年度 貸借対照表、正味財産増減計算書及び
これらの附属明細書並びに財産目録の承認 (案) について

第 2 号議案 役員を選任 (案) について

第 3 号議案 会員会費の一部変更 (案) について

報告事項

- (1) 理事長・副理事長・専務理事 下半期業務報告
- (2) 各種会議・行事等の開催及び出席報告
- (3) 各種会議の開催報告
- (4) GGG 成果報告 (東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 千葉演習林)
- (5) 平成 28 年度 入会・退会報告
- (6) 創立 40 周年記念事業 みやぎ海岸林再生活動 「golfer 未来の森」 (2 回目)
- (7) 香川県まんのう町立満濃南小学校記念式典
- (8) 仙台市海岸林再生植樹 「golfer 未来の森 仙台」
- (9) 「第 69 回全国植樹祭支援 golfer 未来の森」づくり 福島

第2回理事会

日 時 平成 29 年 6 月 20 日 (火) 17 : 00 ~ 17 : 30

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席数 出席理事 15 名、監事 1 名、計 16 名
(理事総数 18 名)

議 事

第 1 号議案 役付理事選定について

第 2 号議案 会員会費規程の一部変更について

報告事項

- (1) 創立 40 周年記念事業 霊山こどもの村「サクラの森づくり」植樹記念式典
- (2) 平成 29 年度 GGG 国立・国定公園支援事業
- (3) 平成 29 年度 4 月 - 6 月 入会・退会状況
- (4) 今後の理事会開催予定

第3回理事会

日 時 平成29年11月28日(火) 14:00~15:00

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席数 出席理事 12名、監事 2名、計 14名
(理事総数18名)

議 事

第1号議案 平成29年度 上半期 事業執行状況について

第2号議案 平成29年度 上半期 決算報告について

第3号議案 平成29年度 下半期 収支見通しについて

報告事項

- (1) 学校教育環境向上のための緑化記念式典「南相馬市立大甕小学校」
- (2) 創立40周年記念事業 熱中症対策事業 熱中症に対する意識調査アンケート集計結果
- (3) 創立40周年記念事業 松くい虫対策助成事業
- (4) 復興植樹祭 ゆりりん愛護会
- (5) 創立40周年記念事業 「岩手県民の森」サクラ植樹・銘板設置 完了
- (6) ロハスフェスタ2017 出展報告(東京・淡路島・大阪)
- (7) セブンス町菖蒲田浜地区海岸清掃とサクラ植樹
- (8) 平成29年度 上半期 入会・退会報告

第4回理事会

日 時 平成30年3月20日(火) 14:00~15:00

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京

出席数 出席理事 14名、監事 2名、計 16名
(理事総数18名)

議 事

第1号議案-1 平成30年度 事業計画(案)について

第1号議案-2 平成30年度 収支予算(案)について

報告事項

- (1) 平成29年度 事業施行状況について
- (2) 学校教育向上のための緑化記念式典—まんのう町立満濃南小学校
- (3) 仙台市海岸防災林再生植樹「ゴルファー未来の森 仙台」
- (4) 全国植樹祭支援「ゴルファー未来の森」づくり 植樹祭/ゴルフイベント
- (5) 学校教育向上のための緑化記念式典—南相馬市大甕小学校
- (6) 創立40周年記念事業「岩手県民の森」サクラ植樹・銘板設置完成
- (7) セブンス町菖蒲田浜地区海岸清掃とサクラ植樹
- (8) 平成29年度 東日本大震災復興事業 GGG海岸防災林植樹祭
- (9) 平成29年度 千葉県海岸防災林再生植樹事業
- (10) 創立40周年記念事業 熱中症に対する意識調査
- (11) 平成29年度(平成29年4月~平成30年2月) 業務執行状況について
- (12) 平成29年度(平成29年4月~平成30年2月) 各種会議の開催報告
- (13) 平成29年度(平成29年4月1日~平成30年2月28日) 入会・退会報告

(2) 定時社員総会

日 時 平成29年6月20日(火) 16:00~17:00

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

場 所 ANA インターコンチネンタルホテル東京
出席数 出席者 28 名、委任状出席 57 名、計 85 名
(会員総数 102 名)

議 事

- 第 1 号議案 平成 28 年度 貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録について
- 第 2 号議案 役員を選任について
- 第 3 号議案 会員会費の一部変更について

報告事項

- 1 平成 28 年度 事業報告について
- 2-1 平成 29 年度 事業計画について
- 2-2 平成 29 年度 収支予算について

2. 業務執行理事会の開催状況

第 1 回 平成 29 年 9 月 15 日 (金) 11 : 00 ~ 12 : 30

議 事

- 1. GGG 松くい虫対策助成事業について
- 2. 活動推進状況について (平成 29 年度新企画等)
- 3. 2017 第 3 回日本ゴルフサミット会議 について

報告事項

- (1) 南相馬市立大甕小学校 緑化式典
- (2) 公益社団法人 日本プロゴルフ協会 60 周年パーティ
- (3) 日本ゴルフサミット会議 第 89 回運営会議
- (4) 第 69 回全国植樹祭支援 ダンロップ・スリクソン福島オープン
- (5) 2017 第 2 回日本ゴルフサミット会議
- (6) 公益社団法人 国土緑化推進機構 平成 29 年度第 1 回理事会
- (7) 公益社団法人 国土緑化推進機構 平成 29 年度総会
- (8) あらまし 29 年度版 発行
- (9) 日本ゴルフサミット会議 第 90 回運営会議
- (10) ロハスフェスタ東京 2017
- (11) ロハスフェスタ淡路島 2017
- (12) 日本ゴルフサミット会議 第 91 回運営会議
- (13) 熊本・福岡 被災地視察
- (14) ロハスフェスタ万博 2017AUTUMN
- (15) 日本ゴルフサミット会議 第 92 回運営会議
- (16) 第 41 回全国育樹祭 (於: 香川県)
- (17) 2017 第 3 回日本ゴルフサミット会議
- (18) 2018 第 1 回日本ゴルフサミット会議
- (19) 2018 年ゴルフ新年会

その他

第 2 回 平成 30 年 2 月 20 日 (火) 11 : 00 ~ 13 : 00

議 事

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

1. GGG 松くい虫対策助成事業審査委員会
2. 平成 29 年度 第 4 回理事会 審議事項について
3. 平成 30 年度 事業計画 (案) について
4. 平成 30 年度 収支予算 (案) について
5. 平成 29 年度 事業活動推進状況について
6. 第 82 回 緑化協力金地方配分金について
7. 平成 30 年度 第 1 回理事会・定時社員総会 開催日程について

その他

報告事項

- (1) 第 69 回全国植樹祭特別委員会
- (2) 公益社団法人 埼玉県緑化推進委員会 平成 30 年度第 1 回理事会
- (3) 東日本大震災復興支援事業 GGG 復興支援植樹祭
- (4) 海岸防災林再生事業 千葉県緑化推進委員会
- (5) NGK・GGG 共催 平成 29 年度「ゴルフ場環境セミナー」
- (6) 公益財団法人 河川財団 理事会
- (7) 藤江小学校 (愛知県) 環境緑化支援式典
- (8) 震災復興植樹祭 IN さんむ
- (9) 九州緑化促進協力会 平成 29 年度 理事会
- (10) 抵抗性マツ苗木 配布
- (11) 第 82 回 緑化協力金地方配分金 支払
- (12) 平成 29 年度 第 4 回理事会
- (13) ゴルファー未来の森 北官林 植樹祭
- (14) 平成 30 年度事業計画書・予算書 提出
- (15) ゴルファー未来の森 仙台 植樹祭

その他

3. 常任理事会の開催状況

第 1 回 平成 29 年 5 月 17 日 (水) 14:30~16:00

議 事

1. GGG 松くい虫対策助成事業 審査委員会について
2. 平成 29 年度 第 1 回理事会 (6 月 2 日開催) について
 - 第 1 号議案 -1 平成 28 年度 事業報告 (案) について
 - 第 1 号議案 -2 平成 28 年度 貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録の承認 (案) について
 - 第 2 号議案 役員の選任 (案) について
 - 第 3 号議案 会員会費変更 (案) について
3. 平成 29 年度 定時社員総会 (6 月 20 日開催) について
 - 第 1 号議案 貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録の承認
 - 第 2 号議案 役員の選任について
 - 第 3 号議案 会員会費変更について
4. 平成 29 年度 第 2 回理事会について
 - 第 1 号議案 役付理事選定について
 - 第 2 号議案 会員会費規程変更について

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会

報告事項

- (1) 東条の森カントリークラブ入会 平成 29 年度より
- (2) 公益社団法人 千葉県緑化推進委員会 事務局長新任あいさつ
- (3) 平成 29 年度国立・国定公園支援事業の件
- (4) 住友林業株式会社 環境エネルギー部 大相模カントリークラブ訪問
- (5) ゴルフダイジェストアワード表彰式
- (6) みどりの日 環境大臣表彰 式典
- (7) 日本ゴルフ関連団体協議会 総会
- (8) まんのう町立満濃南小学校式典 (香川県)
- (9) 当会ロゴ入りボール納品
- (10) 日本ゴルフサミット会議 第 89 回運営会議
- (11) みどりの式典 (憲政記念館)
- (12) PGM ホールディングス株式会社
- (13) 岩手県県民の森 さくら植樹 170 本
- (14) 霊山こどもの村 さくら植樹充当 100 本
- (15) ゴルフダイジェスト・オンライン 報告
- (16) 公益社団法人 千葉県緑化推進委員会緑化貢献表彰 推薦
- (17) 株式会社クリエート
- (18) ゴルファー未来の森 仙台 (荒浜)
- (19) 公益社団法人 埼玉県緑化推進委員会 委託部会
- (20) NPO 法人日本芝草研究開発機構 理事会
- (21) 第 69 回全国植樹祭支援・ゴルファー未来の森植樹祭 (南相馬市)
- (22) 第 68 回全国植樹祭 (富山)

その他

第 2 回 平成 30 年 3 月 20 日 (水) 13 : 00 ~ 14 : 00

議 事

1. 平成 29 年度 第 3 回理事会 (3 月 20 日開催) 審議事項の確認